

議 事 録

会議名	平成26年度第1回寒川町総合計画審議会	
開催日時	平成26年6月26日(木) 14:30~17:00	
開催場所	寒川町民センター3階 講義室	
出席者名、 欠席者名及 び傍聴者数	(委員) 飯田 誠(会長)、佐藤一夫(会長職務代理者)、山田政博、小栗裕治、 鈴木宏文、佐藤 清、杉山孝一、牧野ゆり子、熊澤 茂、谷村秀次、 島村 繁、平本正子、鈴木重徳、鈴木 茂 (欠席者) 吉田悟朗、脇 文亮	
	(事務局) 企画政策課企画行革担当 木村俊雄(町長) ※途中退席、石井宏明(部長)、深澤文武(課長)、 青木裕昭(企画行革担当主査)、吉田史(企画行革担当主査)、吉田慎也(企画 行革担当主任主事)、三澤忠広(企画行革担当主任主事)、遠藤孝(企画行 革担当主任主事)、鈴木俊輔(企画行革担当主任主事)	
	※傍聴者 3名	
議 題	(1) 会長職務代理者の指定について (2) 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画(平成27 年度~29年度)策定までの概要と今後の進め方について ① 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画策定 アンケート調査結果報告書について ② 平成26年度町総合計画後期基本計画施策進行管理・評価シート(平成25年度実 施事業分)(案)について	
決定事項	議事-(1) 会長職務代理者の指定について【佐藤一夫委員】 議事-(2) 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画 (平成27年度~29年度)策定までの概要と今後の進め方について ① 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画 策定アンケート調査結果報告書について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】 ② 平成26年度町総合計画後期基本計画施策進行管理・評価シート(平成25年 度実施事業分)(案)について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】	
公開又は 非公開の別	公開	〈非公開の場合その理由(一部公開の場合を含む)〉
	1 開会 *議事までの間、石井部長が司会進行	
	2 委員委嘱状交付 *町長より委嘱状交付	

	<p>3 町長あいさつ</p> <p>本日は、大変お忙しい中、ご出席頂きまして大変ありがとうございます。この度は人事異動等により、6名の方に新たに総合計画審議会委員にご就任して頂きました。ご就任された方におかれましては、ご多忙の中、快く委員をお引き受け頂きまして、誠にありがとうございます。御礼申し上げます。</p> <p>さて、昨今、当町を取り巻く社会・経済環境は著しく変化しておりまして、昨年度、県より相模ロボット産業特区の指定を受け、主に高齢者等の生活支援ロボットの実用化、あるいは普及を促進する地域となったことを始め、平成26年度中には相模縦貫道路の全線開通を控えるなど、寒川町のポテンシャルを最大限に生かせる環境が整いつつあるのではないかと考えております。</p> <p>一方では、少子化、あるいは超高齢社会の進行に伴いまして、生活、医療、介護等に係る社会保障関係経費は毎年増加の一途を辿っており、今後も義務的経費の増大が見込まれております。地方から大都市圏への若者の流出による人口の再生弾力の喪失により、消滅可能性都市といった言葉も新聞等に出てきている状況の中で、政府のアベノミクスを始めとする成長戦略は株価や経済指標では非常に上昇的な話も出ておりますが、地方にはまだまだ実感がない状況でございます。今後におきましても、町の財政状況は依然として、厳しい状況が続くと想定しております。</p> <p>こうした中で、寒川町ツインシティ倉見地区整備事業、あるいは田端西地区整備事業など、今後の町の方向性を左右致します事業も山積してはございますが、既に議会は終わっておりますが、6月会議で補正予算をあげまして、海老名市との広域連携による海老名駅と寒川駅における路線バス運行の実証実験事業、あるいは寒川神社を核とした新たな観光拠点の創出事業等の予算の承認を頂くなど、住民サービスの向上、また、将来に渡って持続可能な町づくりに向けた事業を着実に推進している、あるいは推進するところでございます。今後につきましても、限りある財源の中で事業の選択と集中をはかりまして、文字通り住んでいて良かった、あるいは住んでみたいと思われる町づくりを進めてまいりたいと考えておるところでございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、これまでの計画の進捗状況や進行管理等について様々な御提言を頂いて参りましたが、本年度につきましても、平成27年度から3カ年の第2次実施計画の策定にあたり、広い見地から貴重なご意見、ご提言を賜りながら、これからの寒川の町づくりと一緒に考えて参りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
	<p>4 委員自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> *委員自己紹介後、事務局職員自己紹介 *町長所用により退席 *会議成立について報告
議 事	<p>5 議題 〔議事進行：飯田会長〕</p> <p>(1)会長職務代理者の指定について</p> <p>飯田会長</p> <p>それでは、議題に入る前に一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は、委員の皆様方におかれましては、大変ご多忙の中、ご出席を頂きまして大変ありがとうございます。本日は平成26年度最初の総合計画審議会となりますが、本年度については平成27年度以降の後期基本計画第2次実施計画の策定に関わる審議が中心になる予定でございます。今後、寒川町が総合計画の将来像に掲げているとおり、「優しさと輝きとうるおいのあるまち」となるよう、今後の町の方向性につきまして、皆様と一緒に議論し、考えて参りたいと考えておりますので、今後の本審議会の運営にあたって、委員の皆様方のご協力をよろしくお願い致します。</p> <p>また、積極的なご意見、ご提言を頂きたいと思っております。私も会長として、本審議会の運営を円滑に進めていくと共に、町の発展のため精一杯努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>それでは、議題に入りたいと思っております。</p> <p>最初の議題（1）「会長職務代理者の指定について」でございます。</p> <p>こちらは、昨年度まで職務代理者であった町議会選出委員の早乙女委員が本年4月より交代されましたので、改めて指定するものでございます。</p> <p>会長職務代理者の指定につきましては、寒川町総合計画審議会条例第5条第3項の規定により、あらかじめ会長が指定するというようになっておりますが、これまでの慣例では町議会選出の委員にお願いをしておりますので、今回についても町議会選出の委員でご相談をして頂き、改めてどなたかお一人選出して頂くということでしょうか。</p>

一同	異議なし。
飯田会長	それでは、町議会選出の委員の皆さんには別室でご審議をお願いします。では、暫時休憩いたします。
《暫時休憩》	
会長	それでは、休憩をとくまして、会議を再開いたします。町議会の選出委員のうち、どなたか協議結果についてご報告いただけますか。
佐藤(一)委員	協議の結果、私が会長職務代理者に指名を受けました。
飯田会長	それでは、佐藤一夫委員に職務代理者をお願いしたいと思います。佐藤委員、ご協力頂きますようよろしくお願い致します。佐藤委員が職務代理者の席へ移動しましたので、ご挨拶をお願い致します。
佐藤(一)会長職務代理者	ただいま、皆様からご推薦、ご承認を頂き、会長の職務代理者に就任する事になりました、佐藤一夫でございます。何卒よろしくお願い致します。本審議会の運営にあたりましては、会長を補佐し円滑に進めて参りたいと考えておりますので、委員の皆様のご協力をお願い申し上げ、簡単ではございますが、就任の挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。
飯田会長	ありがとうございます。
(2)寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画(平成27年度～29年度)策定までの概要と今後の進め方について	
飯田会長	では、引き続き議事を進めたいと思います。次に議題(2)、寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画策定までの概要と今後の進め方について、最初に資料1の説明を求めます。
《事務局から、寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画策定までの概要と今後の進め方について、概要を説明。》	
飯田会長	事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明に対し、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。
飯田会長	内部評価は内部の委員でやっているのか。
深澤課長	基本的に内部評価につきましては、各課等において目標指標の達成等を鑑みながら、職員間の中で内部評価を行ってございます。それをとりまとめたものが、後ほどご説明申し上げますが、施策進行管理評価シートに施策毎にまとまっております。
飯田会長	概ね順調なのですか。
深澤課長	現在、各課等のヒアリングを行っているところでございます。今回お示ししているのは案でございます。まだヒアリングの途中なのですが、昨年度の会議の中で9月の開催では、年度が始まってから半年が過ぎており遅いのではないかとのご指摘もありましたので、本日につきましては、現段階では若干精度が上がっていない部分もございますが、素案としてお示しし、こういった形で進めている事でご理解頂きたいと思っております。
鈴木(重)委員	施策が横断的にまたがり、課が違うような場合には、施策責任者はそこを統括する様な部長がやっているのですか。それからもう一つ。責任者の裁量権、例えば予定通り進んでいるなどを決めるのはどこにあるのか。それから、外部評価委員会の構成と人数を教えてください。

深澤課長	<p>1点目の質問でございますが、資料3「平成26年度寒川町総合計画後基本計画施策進行管理・評価シート」の2ページをご覧ください。こちらは「道路網の整備」という施策でございますが、基礎情報を見て頂きますと施策責任者を都市建設部長としております。こちらの施策関係課としましては、道路課、都市計画課と多課にまたがっている形になっております。こういった多課にまがる場合については、それぞれの課長が面談し、話し合いの中で評価する形でございます。</p> <p>以降のページも見て頂きますと、複数の課がまたがっている所がありますが、そこにつきましては、各評価責任者が自分の事業を持って集まり、施策自体はどうであったか評価していくということでございます。</p> <p>2点目の裁量権でございますが、施策責任者は最終的には起案という形で起こすわけでございますが、基本的には話し合っただけで作った形となっておりますので、元々合意の上作られており裁量権という形ではお任せしておらず、話し合いの中で決めていく形としております。</p> <p>それから、外部評価委員会のメンバーについてでございますが、現在、寒川町の外部評価委員は5名おられまして、内訳としましては、学識経験者として文教大学の教授をお招きしており、こちらが会長の職となります。それ以外では、行政経験者として神奈川県OBの方、寒川町工業協会推薦の民間企業の社長様、税理士の方が1名、公募の方が1名となっております、全部で5名の方が委員に就任されてございます。</p>
熊澤委員	<p>総合計画審議会は、条例にもあるように「町長の諮問に応じて調査審議し、その結果を報告し、または建議する」というような事で、総合計画に関しては一番意見を尊重してもらわなければならないのですが、スケジュール表を見ると、確定したものを形式的に認知して欲しいという内容に見えるのですが、その辺の見解を聞きたい。</p> <p>議会は議会で色々な意見があると思いますけれども、ほとんど確定したものを認知するだけで、往々にしてなんですけれども、審議会で認められたとの大義名分になってしまうので、その辺について見解を伺いたい。</p>
深澤課長	<p>総合計画審議会につきましては、諮問・答申という形でやっております。基本的に諮問につきましては平成24年度に後期基本計画及び実施計画を策定する時にさせて頂きまして、それに対して確定した段階で答申という形で頂いております。総合計画審議会につきましては、諮問・答申の後、その進捗状況及び寒川町の状況についてご報告させて頂いて、その中でご意見を頂いております。基本的に実施計画の策定にあたっては、諮問といった形ではございませんので、そういった中で様々なご意見を頂ければと思ってお示させて頂いております。</p> <p>また、今、審議の時間についてのお話がありましたが、我々として、平成27年度に向けて全事業をヒアリングした後、資料としてお示したいと考えておりますが、後期基本計画を諮問・答申で作上げたときは、若干時間配分が異なっておるところではございますが、前回の諮問・答申と今回の報告では若干役割りが違うということでご認識して頂ければと思っております。</p>
熊澤委員	<p>諮問は計画を作る時で、実施計画は諮問ではないとのことですが、審議会の委員からすると住民の意見ということで、出来るだけ委員の意見を実施計画に反映するのが大事だと思うが、そこが蔑ろにされている感じを受ける。形式的に諮れば認められたんだという感じに見受けられるので、ただ報告するだけで良いのかどうか。</p> <p>実施計画は基本計画がありますから、それに乗っ取っているけれども、進捗率や何を重視してやってももらいたい等、審議会の意見をもう少し重視して頂けるような審議会の運営のあり方を検討して頂ければありがたいと思う。</p>

深澤課長	<p>今回、若干お時間が短かったとは思っておりますが、本日も施策評価シートという形でお示させて頂いております。これはあくまでも確定ではないということで前段にご説明させて頂きましたが、確定次第、皆様のお手元にはお届けしまして、それに対して意見を頂ければと思っておりますが、中々こういった形で集まるのは難しいと思っております。</p> <p>そういった中では、個別意見を頂く形でも良いのかもしれませんが、皆様の中でそういった時間を作れるのかといった部分もごございますので、事務局としては時間のない中で、なるべく効率的に、数少ない会議回数の中で済ませていきたいと思っておりますが、どうしても時間が足りないということであれば、委員の皆様と会長との協議の中で会議回数を増やすことは可能と考えております。昨年度についても1回予定よりも多く開催してございます。当初と致しましては、こういったスケジュールで進めていきたいというのが事務局の考えでございます。</p>
飯田会長	<p>熊澤委員が言われるのは、ある程度の姿があって、その長年の目標に対しての提言がされることであっても良いのではないかということだと思う。目標がきちっと出来て、それに向かってどの様に進んでいるのか、財政的な問題、効果的な問題、あるいは出来上がったものが目に見えて素晴らしいものになっているか、そういう裁量点については人によって色々違うと思う。そういうものを総合的にチェックする機関として、例えば、老人対策としてバリアフリーの道路に出来ているかどうか、あるいは見た目がどうかとか、投資した金額に対してどれだけの効果が上がったのかという専門的な意見だけではなく、自分達が実際に感じた評価も全般的に、横断的に評価する必要性もあるのではないかといった意見もあると思う。熊澤委員はそういった事を踏まえて、ある程度この審議会で意見したことが具現化してこうやって行きましたよと言えるような総合計画にしてみたいと思われているのだと思う。</p>
深澤課長	<p>先ほども若干申し上げましたが、この評価シートについてはまだ案の段階であり、各課とヒアリングをしている段階でございます。当然、作るにあたっては、今後の財政計画も見直さなければならない状況でございます。そういったものにつきまして、11月開催の中で確実なものをお示しさせて頂いたうえでご審議頂く訳でございます。</p> <p>事務事業評価といった事業の進行管理も重要でございますけれども、本来、総合計画審議会につきましては、後期基本計画における基本構想と基本計画レベル、会長からもお話があったように、大所高所からのご意見を踏まえることが重要だとの認識の中で、今まで事務事業、つまり手段についてお話させて頂いてきた所ですが、今回の評価につきましては、施策評価ということで、目的に対して手段がどうであったかをお示しする資料を作成させて頂きました。こちらを確定した後、財政計画、またそれぞれの事業の状況こういったものを次回お示しさせて頂いて、まだ意見反映が可能な時期での開催となりますので、その中でご意見を頂き、意見反映させて頂きたいと考えております。</p>
佐藤(一) 会長職務 代理者	<p>今、評価の話が出ておりましたけれど、総合計画の中の評価シートを作成している段階との説明でしたが、私は整理の仕方として、行政が行う正面業務は施策が出来た、出来なかったではなく日常業務であり、町の将来像を描くものにあたっての評価は、総合計画に謳わなければ政策であると思う。その部分をしっかりと分けて評価をするべきだと思う。</p> <p>例えば、日常の住民票の発行業務は、当然ながら当たり前の様にやらなければならない業務だと思う。そこに効率化をしていくといったことは当たり前の事であると思いますが、そこに加えて例えば、生産年齢人口の増加策についてどの様にやってきたかといった部分が非常に重要だと思いますので、全部まとめて結果的に管理項目としてこうでしたというような評価ではなく、そういう分け方をして評価をした方が良いと思いますが、いかがでしょうか。</p>

深澤課長	<p>ご指摘ありがとうございます。只今、ご質問頂きました部分については、最近の総合計画のあり方としまして、それぞれ政策によって選択と集中という考え方で、どこに選択をかけていくかという中で、相場論的に書いてもあまり意味がないという時代の風潮がございます。</p> <p>そういった部分のご質問だと思いますが、後期基本計画につきましては、総合計画の基本構想の中では章が5章あり、基本構想に縛られているといった状況もございます。こういった部分は、町づくりが変わらない間に変えることは中々難しい訳でございますが、今のご意見につきましては、今後我々としましても、総合計画に位置付けられている事業が300事業あり、これを進行管理するのは大変な事ですし、中には、児童手当の給付事業の様に、国の法令でやらなければならないとされている定例的な業務がございます。こういったものにつきましては、300事業を絞って、政策として、町としてどこに投入するのかを明確にするべきと事務局としても考えております。今後、それに向けて各課と調整し、事業のあり方、まとめ方について研究し、今年度中には結論を出したいと考えております。</p>
佐藤(一) 会長職務代理者	<p>町民が見て町は何が出来て、何が出来なかったのか、この評価シートでは分からないと思う。多分、分かる人はあまりいないのではないかなと思う。ですから、実際に寒川町が何をやるのか、メッセージが伝わっているかどうかは難しいところがある。そういった意味では振り返りの中で、きちんと整理し、次に課題化して計画が立てられるような形が見えるような振り返りになっていればと思う。</p>
深澤課長	<p>本日お示しさせて頂きました事業につきましては、評価シートは平成25年度分ということで、過去分となっておりますので、過ぎてしまった事業としての評価ということでこの様な形になってしまっています。</p> <p>今、ご指摘のありました部分については、今後策定する第2次実施計画の中で精査し、より分かり易い実施計画を作って行きたいと思っております。</p>
飯田会長	<p>他にご意見ございますか。よろしいですか。</p>
<p>(2)① 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画策定アンケート調査結果報告書について</p>	
飯田会長	<p>続いて、議題(2)①寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画策定アンケート調査結果報告書について、事務局から説明を求めます。</p>
<p>《事務局から、寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画策定アンケート調査結果報告書について、概要を説明。》</p>	
飯田会長	<p>事務局からの説明が終わりました。 ただいまの説明に対し、ご意見・ご質問がありましたらどうぞ。</p>
鈴木(茂) 委員	<p>10ページのd)の部分なのですが、今回、施策タイプⅢとなったものについて施策タイプⅠとして扱っていると書かれているが、数値的に捉えられた調査に対してこう言える根拠は何ですか。タイプⅢであるということは、状況に応じて取り組めば良いという項目であるのに、それを今後とも力を入れる項目とされており、データ上で明らかに差が出たのに町としてⅠにする根拠を説明して頂きたい。</p>
青木主査	<p>説明の中でも若干ご報告させて頂きましたが、27ページ以降にありますポートフォリオ分析の分布図をご覧ください。ここではタイプⅠからタイプⅣまで明確に線を引いて分けている形になってございます。先ほど鈴木委員のおっしゃいました、「商業の振興」、「観光の振興」、「町民との協働による町づくりの推進」はタイプⅢのところ position 付けられておりますが、位置付けられた位置が施策タイプⅠに近いボーダー上となった事より、我々としましては、Ⅲではあるけれども、タイプⅠと同じように力を入れるべき施策であると判断致しました。</p>
鈴木(茂) 委員	<p>資料を頂いてずいぶん時間があるわけですが、素人には非常に読みづらく、今日説明を聞いてはじめて分かった。 もう1つ私が気になった話として、公民館についてはこれから何かする必要性が低く、今回のデータを基に施策を打っていくとの説明があったが、これについて説明をして頂けますか。私はそうは思っていない。先ほどの話の中で、公民館はそれほど重要度が高くなく、今後の施策はそういった形で住民を説得していくとの話であったが、私の思っていることとは著しく違う。</p>

深澤課長	<p>公民館についてでございますが、アンケートの取り方といった部分もあるかと思えます。今ある施設を維持して欲しいかと聞けば、基本的には維持して欲しいといった回答が来ると思っておりますが、ここまで大きくなるとは思っておりませんでした。</p> <p>今、国から公共施設等の総合管理計画を作りなさいとの指示が来ています。公共施設が老朽化することにより、今後負担しなければならない維持管理経費が、寒川町だけでなく全国的に取りざたされている状況でございます。</p> <p>そういった中で、公共施設のあり方について今後検討していくにあたって、町民の皆様の意向を確認したいという事でこの設問を設けたところでございます。基本は現状を維持してもらいたいが、負担増は招いて欲しくないというような結果となりますので、大規模改修等をして、長期の債務を負ってまで施設を維持管理するのか、どちらを取るのか、今後、皆様に投げかけていく必要があると考えております。</p> <p>アンケートについては2択ではなく色々な選択肢がありましたので、この様な結果となりましたが、今後どちらか選択する様な場面が訪れるであろうと考えております。</p>
飯田会長	<p>評価の部分だけでなく、中身も問題になってくると思う。だから、総合計画は中身をしっかりとしたものを持たなければならないと思う。評価がどうこうではなく、施設を作った場合には、災害対策に関する基本的な事を補える場所にするとか、あるいは医療の相談事務をするとか、色々な分野の使用方法があると思う。だから、施設を作るのであれば、そこであらゆる町民に対して様々なサービスを提供できるような施設を総合計画として作って欲しいと思う。その目的をしっかりと位置付けてもらわないと、総合計画の意味がなくなってしまう。評価よりも効果を十分に検討して作った方が、総合計画の施策として良いのではないかと思う。</p> <p>うるおいや優しさをどこに求めるのかとなれば、それを達成するために施策があり、その中に公民館や防災対策等の事業があるといった様に中身がしっかりと決まれば本当の総合計画としての意義があると思う。総合計画は将来の設計ですから、しっかりと骨格や目的を持って、総合計画審議会で審議して前に進めていけると良い。その結果としてアンケートを実施するのであれば良いが、施策がいるかいないかといったアンケートでは行政の執行能力を問われる事になる。そういった事を良く考慮して評価してもらいたい。</p>
深澤課長	<p>先ほどは施設のあり方についてをご説明してしまいましたが、その施設が担う役割ですとか機能といった部分になりますと、施設のあり方というのは若干変わってくると考えます。今まで担ってきた機能をどうするべきかについては、別途議論が必要だと思っております。施設としては、今後増大する維持管理経費をどうしていくのか、2つの考え方がございますので、そこについてはこれから策定致します、施設の総合管理計画の中で議論していきたいと考えております。</p>
鈴木(茂)委員	<p>アンケートの回収率が33%となっておりますが、この数字はデータの的には当たり前な事なんですか。その辺はどの様にお考えか。</p>
深澤課長	<p>アンケートにつきましては全体で1,400通発送しており、それに対する回答としては466通ということで、33.3%の回答率ということでございますが、統計学上では寒川町の人口で全体の意見をとりまとめるのに必要な回答数は、378通とされておりますので、統計学上は総論として捉えて良いということでございます。</p> <p>標本調査と全数調査というものがございますが、全員に聞くのが全数調査なのですが、基本的に手間も時間がかかるのが全数調査でございます。確かに、誤差は全くないということでございますが、基本的に標本調査では378通あれば、それは全数調査とそれほど誤差はないと統計学上されておりますので、この回答数は基本的に町民の意見を反映していると捉えております。</p>
鈴木(茂)委員	<p>項目をまだ全部は見えていませんが、「わからない」のウエイトがかなり高い。答えた人が分かっていないのに、これからの政策を決定する基礎データとなり得るのですか。</p>

深澤課長	<p>その部分でございますが、2択などでやる場合であれば「わからない」という項目はないのですが、実際に行政が実施している施策を町民にご理解して頂いていないという現実はあると思います。ということで、あえて「わからない」の項目を消さずに表示しております。アンケート結果を鵜呑みにするのではなく、分からないといった部分もありますので、そういった部分については、後段に掲載しております自由意見等も参考にしながら、全体的な意見の把握に努めて参りたいと考えております。</p> <p>最終的には、実施計画を作っていく中では、総計審をはじめとする内部の委員会や議会等でご報告させて頂いた中で進めていきたいと思っており、進行管理において不具合が生じた場合には、実施計画でありますので、毎年毎年変更が可能なことより、直ぐに変更して対応していきたいと考えております。</p>
鈴木(茂)委員	<p>データの的には色々な形で出ましたが、住民がこの町に住んで良かったと思えるような行政の実績が現れるような行政運営を是非して頂きたいと思えます。</p>
飯田会長	<p>他にご意見ございますか。</p>
小栗委員	<p>このアンケート調査自体が、何のために行ったのか、その目的をはっきりさせて頂きたいと思う。</p> <p>というのは、先ほど他の委員もおっしゃっていましたが、これが本当に神の声なのかという疑問がある。住民の方が望むことを行政は全てやれば良いのかという疑問もある。手法が逆ではないのかと思う。行政が方針や施策をしっかりと決めて、それについて町民に対して理解を求めていくやり方をするべきなのではないかと思う。33%の回答率で本当に町民の意見が反映されているかという疑問もある。</p> <p>このアンケートをどの様に使うつもりなのか教えて頂きたい。</p>
深澤課長	<p>このアンケートにつきましては、まず、後期基本計画を策定したときの町民意識と3年経過しようとしている中での町民意識とでどの様な変化があるのか定点観測をするという目的がございます。同じ設問、手法でアンケートを取ることで、施策を展開したことにより住民の満足度が上がったか下がったか、CSがどの様に变化したのかが現れていると捉えております。ですから、今後とも同じ設問で町民意識がどの様に動いていくのか抑えていく必要があるということがございます。</p> <p>また、先ほどありました、サイレントマジョリティ、ものを言わない方々、つまりアンケートを回答して頂けなかった方々が66%いる訳でございますので、こういった方々がどの様に考えているのか、本当にこのアンケートを信用して良いのかという部分がありますけれども、我々としてはこれは1つのツールとして参考にするべき事案と考えております。それ以外にも、様々な場面でお話を聞く訳でございますが、そういったもの1つ1つに聞き耳を立て、対応していきたいと思っております。</p> <p>ですから、これが全てとは思っておりません。しかし、1つのツールである重要なアンケート結果であるということでご捉えております。</p> <p>ただ、先ほどもう1点ありました、長期展望に立って先を見越した町づくりを行政がイニシアチブを取って実施して行くべきというのは当然あります。それは、後期基本計画というよりも、総合計画の基本構想、これが19年の長期スパンに立って長期展望をした基本構想でございますので、これは我々だけで作った訳ではなく、町民の代表である議会の中で議決して頂いたものでございますので、こういった町づくりをしっかりと進めて行くべきであります。それ展開をして行くにはまだまだ周知不足であるという結果がここに表れてしまったというのが本当のところであると考えております。</p>
小栗委員	<p>使い方、位置づけをはっきりするべきではないかと思う。でないと思解を生んでしまう。先ほど説明の中で、これを基に政策を決定していく様な説明が一部あったと思いますが、確かに、参考資料ですからそういった事もあるんでしょうけど、あくまでも満足度を図る等、1つの指針としてアンケートをとっているということで、政策に全てが反映されるわけではないという部分については、もう少し区別をしっかりとつけて頂かないと、誤解をうむような気がする。</p> <p>パブコメでもそうですが、答えている方が2人しかいないのに、これが町民の意見だとおっしゃる様な事が実際にあります。それが総じてミスリードしていつてしまう。これは大切な計画だと思っておりますので、そういった事を間違えると大きなミスリードしてしまう可能性がありますので、その辺の意識、共通認識はしっかりと頂きたいと思えます。</p>

深澤課長	本日、皆様から頂いた意見、特にアンケート結果につきましては、今後各課に配りたいと思っております。そういった中で自分の所管している施策がどの位置付けにしているのかということ判断して頂く事になるわけですが、唯一これだけを基に各担当が全てを決めていく訳ではございません。各担当が自分たちの施策推進をどの様に見ているのか、その一助として使って頂くようにして行きたいと思っております。
熊澤委員	1ページに子育て世代にアンケートをとったとありますが、中学2年生の保護者を対象にした根拠を伺いたい。私は子育て世代で行政に求められているのは、赤ちゃんが産まれてから小学校低学年までの保育だったり、共働き家庭といった問題が社会的に求められていると感じている。中学2年生になると、子供もかなり自立していて、アンケートの結果も大分違ってくるのではないかと。何故、中学2年生にしたのかを伺いたい。
青木主査	何故、中学2年生にしたかという事でございますが、確かに熊澤委員が仰るとおりだと私も感じる部分もございます。基本的に、中学校2年生のお子様を持つ保護者の方であれば、小学生のお子様もいる可能性も高いだろうという部分もございました。また、小学校の時に特徴的にかかってくる経済的な部分、中学校で特徴的にかかってくる経済的な部分、両方あると思いますので、中学1年生では小学校部分しか感じられないという中で、今回は中学校2年生を対象と致しました。
深澤課長	若干補足させていただきますが、中学校2年生の保護者であれば徐々に高額納税者になってきます。生産年齢人口として安定的な収入と安定的な納税をして行く様な状況でございます。そういった子供を持った方々が、どういったものを望んでいるか、生産年齢人口にどういうニーズがあるか、一番貢献度が高い年齢層を狙ったという状況でございます。
熊澤委員	その答えはちょっと問題があるのではないかと気がします。子育て世代で課題となっている部分を行政としてしっかり捉えていかないといけない。お金がある人という風な事では問題になるのではないかと。お金がある人もない人も町民であって、お金がある人のために町政があるのかとなってきてしまうので、私はその答えはいただけないかなと思う。 保育の問題や学童保育は行政によって取り組みがまるで違う。寒川でも委託という形ではありますけれども、保護者の方に丸投げのような形で、働いて忙しい中、運営管理まで行い、かなりの金額を扱っている。 また、子供が産まれてから親の悩みが多い。そういったところが行政としての視点ではなかるうかと思っておりますが、その辺の見解を伺いたい。
深澤課長	若干ご説明が雑ばくで、誤解を招いてしまったような形となり、大変申し訳ございません。決してお金を持っている方を狙ったというわけではなく、子育て世代という事で20歳以下のお子様をお持ちの方を狙いたいという中で、中学校2年生を対象にしましたが、実際それぞれの年代についても466通の中から年代別として集計しております。その年代別の中で、例えば子育て世代という事であれば、20代から30代の中でどの施策が1位なのか、どれが優先度が高いのかという事も捉える要因となっております。そういった中で別枠として捉えておりますが、現実問題とすると、全体の無作為抽出の1,400通をベースにやっていくことになると思っておりますので、こういった意見を全体的に捉えて施策を展開して参りたいと考えてございます。 説明の中で誤解を生じるような説明をしてしまい、大変申し訳ございませんでした。
飯田会長	他にご意見は。
杉山委員	今までも色々お話が出たかと思うんですが、8ページあたりから分析と考察といった内容になっていきますが、この調査結果そのものをどの様に捉え、今後の計画にどの様に反映していくのかを再度説明して頂けますでしょうか。
深澤課長	このアンケート結果につきましては、今後各課に戻すわけですが、各課においては現在、企画政策課、財政課により全事業のヒアリングを実施しております。このアンケート結果を受けてそこに属する事業については、町民意向の優先度が高い、低いといった視点を持ちながら、施策の推進状況、予算の配分状況を加味して、施策が全体的に町民意向の中でどの様な動きをしているのか捉えたいと思っております。 これがまとまるのが秋口くらいになると思われますので、まとまり次第皆様にお示ししたいと思っております。
飯田会長	他にご意見ございますか。

鈴木(重)委員	今までの話で大体理解したつもりなのですが、定点観測として前回と同じ内容、同じ対象としてやっている結果だから社会情勢や経済情勢が変わってはいるけれども、参考にすると私は捉えている。こういう風になったからこの施策をやらなければいけないというのも重要なんだけど、我々が審議するのはミクロの事ではなくてマクロの事と先ほどからお話が出ている。東日本があって防災意識の高まりが如実に表れている。そういう意味では、5年前と同じ内容で質問するのは当然良いと思うが、時代や状況が変わっているから、あくまでも総合計画に沿った形で、多少は内容を変えても良いのかなという認識をしています。 細かいことで恐縮なんだけれども、アンケート調査の結果で8ページに評価の優先度が出ているんだけど、3桁の番号がありますよね。その前についている①②はどういう意味ですか。
吉田主任主事	前段の3桁が総合計画の施策を表しておりまして、その施策において一括して聞いてしまうと混乱を招いてしまうようなものについては分割させて頂いて①②③という形で整理させて頂いております。
鈴木(重)委員	それはxy軸のことを言っているのか。
吉田主任主事	お手元にございます、アンケートの設問用紙を見て頂きたいと思うのですが、問6(4)下水道・河川の整備という設問がございます。こちらは総合計画の項にあたる実際の施策の部分なのですが、下水道と河川の両方を1つの施策として持っている設問になってございます。
鈴木(重)委員	単なる項目ということか。
吉田主任主事	はい。項目として分類させて頂いております。
飯田会長	他にございますか。
(2)② 平成26年度町総合計画後期基本計画施策進行管理・評価シート(平成25年度実施事業分)(案)について	
飯田会長	続いて、議題(2)② 平成26年度町総合計画後期基本計画施策進行管理・評価シート(平成25年度実施事業分)(案)について、事務局から説明を求めます。
《事務局から、平成26年度町総合計画後期基本計画施策進行管理・評価シート(平成25年度実施事業分)(案)について、概要を説明。》	
飯田会長	事務局からの説明が終わりました。 ただいまの説明に対し、ご意見・ご質問がありましたらどうぞ。
鈴木(宏)委員	いくつかご質問したいのですが、AとかEとかFとか評価が色々ついていますが、これは施策責任者が評価したという理解でよろしいのでしょうか。
深澤課長	その通りでございます。
鈴木(宏)委員	個人としてか。
深澤課長	施策責任者として最終的に判断しています。
鈴木(宏)委員	組織は組織なりにまとめて行うといった事も含めて、施策責任者の責任の下に評価したと。
深澤課長	その通りでございます。
鈴木(宏)委員	2点目として、この結果を今後どの様に使っていくのかを教えてください。
深澤課長	こちらにつきましては、今後策定いたします第2次実施計画に使うのは勿論のこと、第2次実施計画を作る中で、後期基本計画についても時代の編纂とともに、若干修正しなければならない、上の施策として修正しなければならない部分についてもこれを参考に修正すべきか判断をしていきたいと考えております。
鈴木(宏)委員	細かい事で申し訳ないのですが、3点目として、有効性のところに「Fその他特別な事情による」という区分が出てくるのですが、これは何かこういうものだというものがあれば教えてくださいんですけど。

青木主査	<p>有効性のFの区分でございますが、色々なケースがある部分なのですが、代表なものを申し上げますと、例えば、法の施行がこれから待っていますといったもので、法の施行が平成27年度4月1日のものを前年度より事業化する場合などが、その他特別な事情によるものとしてFの評価をするものでございます。</p> <p>これは施策をまとめたシートでございますが、先ほどご説明致しました、施策にぶら下がっている事務事業のシートがございまして、我々はそれを基にヒアリングを行っているところでございますが、その中で事業に対しての効果指標を設定しまして、その指標に対してどれだけの進捗があるかによりまして評価区分を設定している事から、事業が特別な事情により全く進捗しておらず、評価が出来ないものについてFと評価しているものでございます。</p>
谷村委員	<p>今、目的については評価をして評価結果を反映させるとのお話があったかと思いますが、確認したいのが時間軸で、いつ評価をしていつ次に反映させるのかお伺いしたいのと、シートの5.にある期間内における目標指標と実績という中で、実績値が2つ、あと予測値と目標値とありますが、それぞれの年度の目標値はどうなっているのでしょうか。目標に対して実績というのが一般的だと思うのですが、その辺はどうなっているのか2点お伺いしたいです。</p>
深澤課長	<p>時間軸の話でございますが、先ほどの年間スケジュールをご覧頂きたいと思えます。その中の予算編成事務等の部分でございます。</p> <p>本日は6月の部分でございますが、第1案として作成し、7月の欄に入っておりますが、総計審からの意見反映、外部評価委員会の中でも外部評価を行います。その後、10月には翌年度の予算編成の方針が出ますので、それに向けて施策評価を確定していきたいということでございます。</p> <p>施策として過年度分でございますので、実施にどうであったか踏まえた中で11月以降の新年度予算の中に生かしていきます。すなわち、これが平成27年度以降の3年間の当初予算に反映されるものでございます。</p>
谷村委員	<p>評価シートについては単年度の評価ではなく、3ヵ年の評価をしているという事なのですか。</p>
深澤課長	<p>その通りでございます。こちらにつきましては、内容的には平成22年度実績とありますが、これは平成24年のスタート時に各施策がどういう状況かという事の基準値として表しています。それ以降、施策については平成26年度、29年度、32年度と第1次、第2次、第3次の実施計画の最終年度においてどういう状況になっているかという目標値を掲げておりますので、各年度毎の目標値は持っておりません。ただ、その最終年度に向けての途中経過として、今どういう状況にあるのか、このシートで判断出来ることとなっております。さらには平成29年度にはどうなっているかも踏まえ、平成27年度の予算編成に臨むという形でございます。そういった時間軸になってございます。今の実績値を抑えながら、第2次実施計画の目標設定にも役立てていくという事でございます。</p>
谷村委員	<p>時間軸は分かりました。その中で、次に「現状・課題」とあるのですが、中には現状だけ書いてあるものや、課題だけ書いてあるものがあるので、出来れば、現状把握は現状把握、課題は課題で分けた方がより次に繋がるものになると思えます。</p>
深澤課長	<p>確かにこちらは「現状・課題」と書かいてあって、現状と課題は全く別物でございますので、それをごちゃ混ぜにして書かれているところも見受けられます。</p> <p>今後につきましては、ヒアリングをしながら現状は現状、課題は課題として、その課題に対して今後どうするのかというのが、今後の取り組みに反映される事になりますので、そこは明確に分けながら記述し、皆様にも分かり易くしていきたいと思えます。</p>
鈴木(重)委員	<p>意味が理解出来ない部分があって、評価区分がAからDまであるんだけど、A、Bは理解出来るんだけど、C、Dって載せる必要があるんですかね。1点だけDがありますが、CとDは評価に値しないんじゃないかなと思うが、敢えてこういう項目を出すのには理由があるんですか。</p>
深澤課長	<p>C、Dの評価をしたものについては施策も推進しない、効果も上がっていないという事で、今後どう対応するか大きな課題でございます。これについては、やる気があるかないかという話になってきてしまいますので、この中で整理して、降ろすべきものは降ろす、展開するものは展開するという判断に使って参りたいと考えております。</p>
鈴木(重)委員	<p>A、BであってもいずれC、Dになる可能性があるということか。</p>

深澤課長	その通りです。
鈴木(茂)委員	49、50ページの生涯学習の推進について聞きたいんですが、実は昨日、社会教育委員会の会議がありまして、そこでも採めたことなのですが、50ページの現状・課題のコメントの①に「社会教育関係団体への補助金に依存した事業実施傾向が見られることから、補助金の段階的な見直しを行う。」と記述されていますが、色々なものに補助金が出されている訳で、何か一律の形がないとおかしいのではないかという事が昨日も問題になったんですけど、この社会教育の団体だけがこの形なんですか。
深澤課長	施策としてはその様な表現をされています。ただし、補助金については、最終的に財政計画の中でどうするか、例えば一律カットであるとか、効果を見ながら補助金に差分をつけるとか、色々なやり方があると思っていますが、一律の基準を設けるという話は難しいと思っています。 ただ、補助金としてこちらに書いてある部分というのは、全体ではなく、この施策について記載されておりますので、全体は全体として財政計画を作る時の考え方の中で議論するという事です。こちらに書かれたからといって、最終的にこの様になるということではなくて、今後ヒアリングして、この書きぶりが良いのかどうか、そこも判断していきたいと考えております。
鈴木(茂)委員	これはまだノーチェックで、各課が3月までにやってきた事がレポートとしてまとめられ、今日提示されたものと。それは私が昨年にくらべて遅いと怒鳴った事への反省だということですね。
深澤課長	そう捉えて頂いて構いません。
鈴木(茂)委員	まだ細かく検証していないという事ですね。
深澤課長	はい。こちらの内容につきましては、再度、企画政策課のフィルターを通して、どういう書きぶりなのか、最終的なチェックをしていきたいと思っておりますが、この段階では、各課、それぞれの施策責任者の判断の中で記述されたものでございます。ここについては、最終的な施策間の優先順位など色々なものを勘案しながら、現状・課題についてもこれで良いのか、企画政策課のフィルターを通していきたいと思っております。 今後、確定したものは改めてお知らせしたいと思っております。
鈴木(茂)委員	もう1点。私はこれを読むときに、実施計画と突き合わせながら読んでいるのですが、非常に読みづらい。少し飛ばされたり、欠けていたりするのですが、敢えてこうしているんですか。
深澤課長	実施計画は、先ほどの49ページであれば3.の事務事業名、色々な事業がありますが、この事業がそれぞれ書かれています。事業は目的を達成するための手段だという考えの中で、このシートはその1つ上のレベルでどうであったかという事を検証していますから、中々そこはリンクしないと思います。
鈴木(茂)委員	リンクしないということは、裏を返して読むと、達成率が良いものだけを選ぶような高度なテクニックを使っているのかなと考えてしまう。
深澤課長	実のところ、各事務事業における内部評価というのがございます。事業毎にそれぞれある訳です。実際にシートにA、A、Bと書いてありますが、事業毎に事務事業評価がありまして、これを集約したものがこれになります。1個1個のものはまた別にあります。
鈴木(茂)委員	もう1点いいですか。町の職員でもこれ全部を知っていることはないと思うので、これをA4かA3くらいにサマライズして、町の方向性の中でどうなんだという事をやってもつらた方が良くないと思います。下水率の問題など色々あるでしょ。失礼だけど、私も関心のない事項もあるし、凄くあることもある。これはこれで出されるのは構わない。ただ、これを基にした上うえで、次年度はここをやっていくというものを1枚にまとめたものが欲しいなど。でない、読めば読むほど、読む気がなくなってしまふ。
深澤課長	確かに、総合計画と言われるだけあって、行政の事業が全てこの中に出ているということで、多くの事業がこの中にあり、それぞれ分析しています。1個1個は分かるけど、全体的にどっちを向いているか中々分からないといったご意見もございます。そういった部分につきましては、総合計画の検証、策定とは別の場面として、行政としてどうすべきなのか、今後どの様な町づくりをしていくのか、また別途住民向けにピPRする意味でも、機会や資料を作らなければならない事もあると思います。

鈴木(茂)委員	<p>先ほど、委員長が言われたように、綺麗事でみどりだ何だとして出しているけど、それはこういった事実に基づいてこうなっているんだと、具体的な数字を使って、3年間でこれだけ改善されました、それがみどりと何とかの町なんですよという形でやってもらおうと、住民も寒川の町を離れないと思う。多くの税金を納めてくれるようになるでしょう。</p>
飯田会長	<p>さっき言われたように、昔のままの町というのは片方では残ってるんですよ。社会教育の方でも体育指導員だとか、新しいスポーツ普及委員だとか、そういうのが自治会の中には残っている。そういうものを整理しながら補助体制もきちっとしていかないと、本当に体育指導員なのか、普段どういった活動をしているんですかというような疑問に思うようなところに補助金が行ってみたい、一生懸命活動してても補助金は全然もらわないで自分たちで会費を取ってやっているところもある。</p> <p>補助金についても第三者を入れても良いですから、きちっとした体制づくりをしなければいけないと思う。中には補助金をもらうためだけに会が維持されているような事もあるから、そういう時代の変化をきちっと捉えて良く見直して、厳しくチェックしていかないと、町民から今に批判をあびてしまうと思う。例えば、中央体育館の駐車場は三が日の料金は体育協会ではなくて、観光協会が徴収している。じゃあ誰の施設ですかと聞けば、町の施設であって観光協会の施設でも何でも無い。関係があるのかといえ、何も無い。そういう感じもあるから、それはそれで第三者が管理して、収入は町に入って、町が改めて補助体制をきちっと持つといった体制にしないと、丸投げみたいな感じになっちゃって、町は何をやっているのかとなってしまうから、そういう点を大きな意味で洗い直さなきゃいけないなと思う。</p> <p>それから、総合計画の大きな問題として、第6次の用途地域の見直しがあるでしょ。これは大きな問題になってくる。人口が減少して、市街化区域は作らない、逆線引きもあり得るといった中で、田端地区を工業団地にしていくとか、そういうものの計画が何も進んでいない訳でしょ。そういうものは、総合計画としてきちっと目標を持って、計画を作って、これが寒川の総合計画という様なものがないと、何のために総合計画やっているんだと言われても仕方なくなってしまうんじゃないかと思う。30年後はこうなります、20年後はこうです、10年後はこうです、それはこういう環境によって変化していくんですといった事が沢山あると思う。</p> <p>保険福祉事務所にしてもそうでしょ。保健所は茅ヶ崎市で独立してやようになる。じゃあ寒川はどうするのか、町民にとっては大きな問題になる。こういう問題をしっかり交渉して、早めに総合計画に盛り込まないと総合計画は何をやっているのかとなってしまう。保健所、福祉事務所をどうするのか、寒川の事情を良く聞いて貰って、平塚市に行ってしまうは大変なことになるから、寒川町としてはこうしたいという指針をしっかりと決めて総合計画を作って行かないと時代遅れになってしまう。そういう事を総合計画として立案し、30年後はこうです、20年後はこうですという長期ビジョンを作って貰わないと困る。</p>
深澤課長	<p>確かに、どういった方向で町づくりが動いていくのかという長期的なビジョンを見据えながら、今何をすべきであるか、今どの段階にいるのかというのを出していくのは、総合計画の重要な役割であると考えております。</p> <p>また、そういった町づくりの長期ビジョンを見せることは、寒川町において期待度など色々な部分で人口流入を促す様な、魅力ある町づくりをするに当たり必要な事だと思っております。行政間競争がより激しくなる中では、魅力ある町づくりのビジョンは大切な事になりますので、そういったものを出しながら、一方で、時代の中で毎年毎年状況が変わってくることも考えられますので、そういったものは柔軟に対応出来る様に逐一総合計画の中でも反映して、長期ビジョンを持ちながら、柔軟に対応する総合計画を研究していきたいと思っております。</p>

熊澤委員	<p>この評価シートはまだ決まったものではなく、これからヒアリングを実施するという事で、今後のヒアリングで確かめて頂きたいのですが、28ページに「地域福祉の充実」とあり、基本方針が「地域の密着した福祉サービスを進めるため、地域、保険、医療、福祉等との連携を図りながら、地域における福祉活動の充実を図ります。」と大変良い目標を掲げてあります。2025年問題で、医療も福祉もこれからは在宅の方向へ進めて行かないと難しい、そうしないと収容できない、病院にも入れないという事ははっきりしてきている。</p> <p>そうした中で、29ページの現状と課題の部分に「地域福祉計画推進事業については、町計画と社協計画の連携が課題となっている。」とあるが、社会福祉協議会は社会福祉活動計画という計画を持っている。地域福祉計画は医療、高齢福祉、介護保険の横の繋がり、それから介護予防も進めなければならないといった中で作って行く計画。どこまで町で出来るかは分かりませんが、国もそういった方向で動いている。社会福祉協議会は事業計画を持っているというだけの話で、地域福祉計画はもっと幅広いもの。</p> <p>また、今ある地域福祉計画についても、産業まつりなど他事業まで計画に盛り込んで評価している。総合計画でやる事ではないのか、そんな計画はないだろうと言ってきたが、今度は社会福祉協議会の事業に乗ってしまうという事で全然視点が違っている。今後の取り組みには「地域福祉計画推進事業については、町計画と社協の計画の一体化について連携して進める。」ということで、まるで乗っかってしまうみたいになっていて、そうではないだろうと思う。その辺を担当課としっかり意見交換して貰いたい。全然視点が違っている。基本方針については、立派で、こう進めて行くべきであると思う。</p>
深澤課長	<p>町の地域福祉計画については、社協の計画も包括しながら、もっと大きな枠組みで地域福祉があるのであろうというご意見だと思いますが、ここにつきましては、担当とヒアリングの中で、本当に正しいのか、また、地域福祉計画とは何かという原点に戻る事も大切だと思いますので、そういった部分を含めて担当と調整して行きたいと思っております。</p>
小栗委員	<p>内容については色々異論のある部分も沢山あるのですが、その前に、評価の分類の仕方は何か分類手法に則って作られたのでしょうか。というのは、単純なABC評価なのかなと思ったが、内容が全然違って、更には妥当性、効率性、有効性の中でもABCの内容が全く違うが同じ記号を使っていますよね。我々もABC分析はよくやっていますが、それとは全く違う内容で、項目毎に内容が違うのに同じ記号を使っていて非常に分かりにくい。一般的な考え方で行くと分かりにくいのですが、何か手法があるのでしょうか。</p>
深澤課長	<p>1ページに評価の仕方についての記載があるのですが、評価の仕方については様々な検討を重ねた結果がこの様になっているのですが、確かに皆様に分かりにくいという部分はあると思いますので、ここについては持ち帰って検討させて頂きたいと思っております。</p>
小栗委員	<p>Aを使うのであれば、A1、A2、A3などにして、次の項目についてはB1、B2にするなどしないと、同じ記号を使うと、同じ内容だと思われる可能性がある。</p> <p>手法ではなく、そちらで考えられたものということだとすれば、もう少し分かり易い様に検討して頂ければと思います。</p>
飯田会長	<p>他にございますか。</p>

佐藤(一) 会長職務 代理者	<p>色々とお出ておりましたけれども、この評価シートは事務事業に対する職員側の評価だと思うんですね。施策内容の目指す姿とか施策の方向だとか、4の現状評価というのは後期基本計画の指標に対してどうかという感じなんですよね。これそのものをどうやって取り扱って行くのか、という考え方がしっかりしていないといけないと思うんですよ。付け加えられた部分はあまり考えられていないのではないかと感じる。</p> <p>計画に対してどうなのかというのは、町民アンケート調査という部分が町民に対してコミットしたもので、これに対してどうなのかという所はきちんと検証していくべきだと思います。そういった意味では、深掘りがされていないと私は思います。何故こうなのかといった部分がないんです。</p> <p>委員の皆様のお話を聞いていて、この評価シートが次の計画にどう生かされていくのか、見えない事自体が課題なのではないかと感じていました。アンケート結果をどう使っていくのか、総合計画審議会としてどう答申に繋げていくのか、その中で外部評価委員会はどの様な位置付けにあるのか、どれも並列であるとは思いますが、それぞれ、こういった形で取り扱って行くかは出てきていない。そういうものをこの審議会の中で共有しないと、何故この項目が外れたのか、痒いところにまで手が届く様な施策になっているのか、といった部分が分からない感じがする。施策の取り方や検証の方法についてはもう少し深掘り出来る様な形で考えた方が良いと思います。</p>
深澤課長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>施策評価という手法を今回初めて取り入れたという事もあり、経験値が少ない中、暗中模索の状況で進めている事は否めません。今は、シートにアンケート調査結果が記載されておりますが、施策評価者が評価した時には、アンケート調査結果はまだ反映されておりました。従いまして、町民のCSと最終評価がマッチしていない場合も考えられます。こういったものを最終的には全部見直す訳でございますが、これから外部評価委員会もありますので、外部の視点からのご意見を頂けるとと思いますので、そういった意見を全事業に対して同様のフィルターをかけ、同じ様な見方をして修正していきたいと思っております。そして、最終的にはそれぞれの事務事業が本当に目標に向かって進んでいるのか判断するツールにしたいと考えております。</p>
佐藤(一) 会長職務 代理者	<p>言葉足らずで申し訳なかったのですが、そういった部分についてはしっかりすべきだと思うのですが、そもそも、評価をするにあたって、町民が総合計画をイメージ出来るだけの情報発信が果たして出来ていたのか。300を超える事業を知ったうえで、評価出来ていたのか。</p> <p>知らないという回答もアンケートの中に出てきましたし、知っているけど足りない、という部分もある。そういった深掘りが出来ていないと、次に繋がらないと思うんです。そういった分析が出来るのか、それともそこまで細かい事をやっていると、寒川町がどの様な方向に進んでいくのかイメージしにくいのか、そこら辺をどう考えているのかお聞かせ頂きたい。</p>
深澤課長	<p>確かにアンケート結果の中で、「知らない」という回答が沢山出てきます。そういった中で、それを積み上げてどう施策評価をするのかという部分はございますが、そこは基本構想をブレイクダウンした基本計画を町としてどう進めて行くのか、どうやって町民の目に事業効果が見える様な形で施策を展開していくかが課題であると考えています。そこについては、効果が高い事業を重点的に進めて行くという方向を取らなければならない、そういった意味では事業を統合しながら、本当に重点的に進めねければならぬ事業を洗い出しをしながら、そこに投資をしていきたいと考えております。そういった中で、周知不足についても解消していくことが重要だと思っております。</p>

飯田会長	<p>一番重要な部分ですから、企画政策課から町長にこの施策で行きますと押しつける位の事が必要。</p> <p>例えば、平塚から来る予定の計画道路がまだ来ておらずストップしているから、緩和策としてこういった道路を考えたいという場合についても、町が主体となって施策を展開しなければ県は動くことが出来ない。</p> <p>寒川の基点病院は病院はどこですかとなると、基点病院は何もない。寒川病院だといっても、宗教法人であるから町が手を出しにくい。しかし、町民は大勢利用している。そういった部分の連携をどうして行くのか、町の将来像、或いはこうしたら良くなるだろうという提案も含めて企画政策課から町長に意見するくらいの姿勢で臨んで貰いたい。</p> <p>一番リードするのは施策進行の方ですから、その為に企画政策課として先取りして貰いたい。それが町民の安心・安全にも繋がる事だし、色々な問題に関わってくる。町長が間違っただけをしていれば、将来像はこうですとしっかり修正をする位の役割を持っていると思う。だから総合計画は先取りをしていないと、世の中はどの様に変化していくのか、老人福祉はどうするのか、人口は減少するのか、若い世帯が流入してくるのか、例えば県営住宅を健康団地に作り直してみたりと、そういった提案も含めて町が主体としてやっていかないと良い町は出来ないと思う。</p> <p>通学路が狭隘道路で、学童が通れない様な道で、車を通行止めにしなればいけない様では困る。そういった部分を取って、優先順位をつけて危険度の高い部分から修正していく、そういった企画政策課であって欲しいと思う。</p> <p>皆様、評価がどうこうというよりも、結果がこうなりますよという部分に期待している方が大きいと思う。</p>
牧野委員	<p>評価シートの各事業で、予測値と目標値が書いてあるのですが、いつの時点での数字なのか、また違いは何なのか。</p> <p>それから、平成25年度については実績値しか載っていませんが、予測値と目標値がなければどれだけ事業が進捗したかを数値的に図る事が出来ませんので、その辺の数字を入れたらどうかと思います。</p> <p>また、シートの見方に予測値、目標値の算出方法についての説明を加えた方が良いのではないかと思います。</p>
深澤課長	<p>平成26年度の目標値でございますが、平成24年度の総合計画スタート時に各実施計画末の目標値を掲げており、その設定した平成26年度の目標値を記載しております。また、施策については、毎年度の目標値を持っておりません。あくまで実施計画の最終年度毎の目標値ということになります。</p> <p>平成22年度の実績値がありますが、これは総合計画がスタートしたときの基準値という事でございます。それ以降については、先ほど説明したとおり、実施計画の最終年度にしか目標値を持っておりません。ただ、平成26年度の目標値を達成出来る状況にあるかどうかを判断するために、平成25年度の実績値はどうなのか、また、平成26年度の予算を踏まえた中で予測値としてどの位になるのかといった部分を見渡せる資料になってございます。</p> <p>先ほどご指摘のありました3指標、目標値、予測値、実績値という形では各年度数値を持っていないという状況でございます。</p> <p>シートの見方については、考え方の記述を追加させて頂こうと考えております。</p>
鈴木(茂)委員	<p>一般的には目標値を立て、実績が上がれば、業績効果ということで評価の対象となりますが、町ではそういったものがあるのか。</p> <p>それから、外部評価については傍聴出来るのか、その2点について伺いたい。</p>
深澤課長	<p>人事評価の部分でございますが、目標管理という形で総務課がシステム作りに取り組んでいる所でございますので、今後、目標管理の中で展開されてくるだろうと考えております。</p> <p>また、外部評価委員会でございますが、傍聴は可能でございますので、ぜひお越し頂きたいと思っております。</p>
飯田会長	<p>他にご意見ございますか。</p>
杉山委員	<p>施策の評価シートという事が出ていますが、重点プロジェクトについての評価についてはどの様にお考えなのかを教えてください。</p>

深澤課長	今回につきましては、重点プロジェクトの評価はしておりません。何故なら、施策と呼ばれるものは基本計画レベルでございまして、重点プロジェクトについてはこの基本計画の一部を横断的に捉えているもので、重複していることとなります。実施計画の中でそれがさらに展開されるという事の中では、今回は重点プロジェクトの評価は行っておりません。ただし、最終的には重点プロジェクトについても評価しなければなりませんので、時点がずれてしまいますが、施策評価の確定後に評価したいと考えております。
飯田会長	他に意見等ございませんでしたら、議題(2)につきましては、これで質問を終結いたします。 以上をもちまして、本日の議題につきましては、全て終了いたしました。

6 その他

飯田会長	続きまして、議題(3)その他ですが、事務局から何かありますか。
深澤課長	事務局より1点、次回の審議会開催予定についてでございます。 次回につきましては、議題の中でも説明させて頂きました「施策評価」について、今後開催される外部評価委員会のご意見等も頂いたうえて、最終的に整理したものを次回の総合計画審議会において報告させて頂きたいと考えております。 開催時期としましては。外部評価委員会が終了する11月頃を目途に開催を予定しておりますので、恐縮ではございますが、会議出席に対しましてご配慮頂きますようお願い申し上げます。 なお、具体的な日時につきましては、決まり次第早急にお知らせ致しますので、よろしくお願い致します。 また、最後になりますが、本日皆様から頂きました貴重なご意見・ご提言につきましては、今後策定業務の中で反映をさせて頂き、次回の審議会においてその報告をさせて頂きたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。 事務局からは以上でございます。
飯田会長	ただいま事務局より次回の本審議会についての説明がありました。この件について何か確認事項等ございましたらお願いします。 特になければ、議題の「その他」について、これで終了とします。 それでは本日の日程について全て終了しましたので、進行につきまして事務局へお返し致します。

7 閉会

石井部長	本日は色々ありがとうございました。 貴重なご意見をいただきまして、まだまだ途中のものという形で、これから試行錯誤するといった面もあると思いますので、そういった中で我々も今後、町に対してどういった施策を打っていったら良いのか考えていきたいと思っております。 11月にある程度まとまりましたら、ご報告させて頂き、その中で改めてご意見を頂ければと思っておりますのでよろしくお願い致します。 本日はお忙しい中、長時間にわたり審議して頂きありがとうございました。これを持ちまして、平成26年度第1回寒川町総合計画審議会を閉会とさせていただきます。 どうも本日はありがとうございました。
------	---

資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・平成26年度第1回寒川町総合計画審議会席次表 ・寒川町総合計画審議会条例 ・「寒川町総合計画」に関する町民アンケート調査 ・資料番号1 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画(平成27年度～平成29年度)策定までの概要と今後の進め方について ・資料番号2 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画策定アンケート調査結果報告書 ・資料番号3 平成26年度寒川町総合計画後期基本計画施策進行管理・評価シート(平成25年度実施事業分)
----	--

議事録承認委員及び 議事録確定年月日	飯田 誠 会長	(平成26年10月28日確定)
-----------------------	---------	-----------------